

*** 「投稿要領」の変更についてのお知らせ ***

本学会誌は、会員の皆様の積極的な論文の投稿により、各号とも質量ともに充実した論文誌として発行することが続けられております。

編集委員会としましては、学会誌の更なる発展を期して、本学会の目的の一つである実践的研究の重視及び実践と理論の融合の観点から、実践的な論文の重要性を評価するカテゴリーを明確化することとしました。教育現場で実践的な取り組みを進める先生方の積極的な投稿をお待ちしています。

なお、新設の論文は、従来の論文の領域に対応しています。

投稿要領の一部改訂

「教育情報研究」の論文の枠組みを一部改定しました。

■掲載内容

本誌は、教育情報に関する研究誌であり、下記の論文等を掲載する。

(1) 論説・解説 (Article・Commentary)

- ・最近の教育情報の研究・開発動向及び将来の展望などを、文献をできるだけ多く引用して、偏ることなくわかりやすく解説し、研究テーマの選定、研究計画推進などに資する内容のもの。

(2) 論文 (Paper)

- ・教育情報分野に関して、実証され信頼性のある研究成果や内容を明確に論述したもの。
- ・教育情報分野に関する新しい方法や結果、提案、論議などを論述したもの。

(3) 実践論文 (Paper on Practice Research)

- ・教育情報分野での教育実践に関しての開発や分析などを行い、それに裏付けられた妥当性があり、会員への価値や有効性が認められたもの。

(4) 研究報告 (Short Letter)

- ・短期間で掲載することを目的とし、萌芽的・挑戦的な観点や重要な調査結果の提示が認められ、他の実践者への有効な知見を与える簡潔にまとめられたもの。

(5) その他

- ・研究会報告、講演録、研究情報等。